

# 第3回 創剤カンファレンス静岡

平成26年12月12日(金) 13:00-17:05

静岡県立大学 小講堂

「創剤カンファレンス静岡」では、製薬企業等で製剤の研究開発に携わってきた研究者による特別講演と、静岡県立大学薬学部と製薬企業の研究者による最新の研究成果発表を行います。どなたでも無料で参加できます(事前申込不要)。  
多数の参加をお待ちしております。

13:00-13:05	開会挨拶 野口修治 (静岡県大・薬・創剤科学・准教授)
13:05-13:20 DDS製剤 (座長 岩尾康範)	小出裕之 (静岡県立大学・薬・医薬生命化学・助教) 「VEGF結合特性を有する多官能性ポリマーナノ粒子の開発とがん治療への応用」
13:20-14:20 製剤分析評価 (座長 浅井知浩, 内野智信)	内野智信 (静岡県大・薬・臨床薬剤・講師) 「バイオ医薬品注射剤調製時に発生する凝集体のキャラクタリゼーション」 野口修治 (静岡県大・薬・創剤科学・准教授) 「放射光X線CT法によるワックスマトリックス製剤一粒子の薬物溶出過程の可視化」 坂井敏郎 (アステラス製薬・製剤研究所) 「小型エクストルーダーの固体分散体調製における有用性評価」 松井良幹 (資生堂・新領域研究センター) 「受動拡散における薬物の皮膚透過性と製剤化」
14:35-15:35 特別講演 (座長 板井茂)	牧野悠治 (武蔵野大学・薬・客員教授) 「企業での研究における成功と失敗の分かれ目」
15:45-17:00 製剤設計 (座長 内田信也, 宮寄靖則)	宮寄靖則 (静岡県大・薬・臨床薬剤・准教授) 「自転公転式混練機を用いた乾式粉末コーティング」 奥田豊 (東和薬品・製剤技術本部) 「Suspension spray-coating法を用いた新規ODT化技術とその薬剤学的評価」 柏倉康治 (静岡県大・薬・実践薬学・講師) 「院内製剤レボチロキシン坐剤の調製と臨床評価」 岩尾康範 (静岡県大・薬・創剤科学・講師) 「大腸デリバリーを可能とする新規chitosan誘導体コーティング液の開発と評価」 世戸孝樹 (静岡県大・薬・薬物動態・助教) 「粉末吸入製剤化技術による pirfenidone の副作用リスク低減」
17:00-17:05	閉会挨拶 尾上誠良 (静岡県立大学・薬・薬物動態・教授)

連絡先: 野口修治 (静岡県立大学薬学部創剤科学分野)

Tel: 054-264-5610 E-mail: [noguchis@u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:noguchis@u-shizuoka-ken.ac.jp)

最新情報: <http://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/pharmeng/images/sozai-conference2014.pdf>

主催: 静岡県立大学薬学部/創剤コンソーシアム

協賛: 製剤機械技術学会, 日本薬剤学会, 日本薬学会